

「フロン類のさらなる排出抑制に向けた対策の方向性について」（概要）

【令和8年8月 産業構造審議会フロンWG・中央環境審議会フルオロカーボン小委 中間とりまとめ】

I フロンの排出の現状・課題

- これまで増加傾向にあった代替フロン（HFCs）の排出量は近年減少に転じているが、地球温暖化対策計画・モントリオール議定書の目標に照らすと、対策の強化が急務

II 今後の対策の基本的な方向性

- 排出量の一層の削減のため、機器使用時の排出抑制・機器廃棄時の冷媒回収を徹底
- HFCsの生産量・消費量の段階的削減、脱フロン・低GWP化に向けた取組を前提としつつ、回収した冷媒の再生・循環利用（冷媒サーキュラーエコノミー）も重要

III 今後講ずべき具体的な措置

（1）フロン類の使用の合理化に向けた取組（低GWP冷媒の開発、自然冷媒機器の導入支援など）

（2）フロン類を冷媒として使用する製品におけるフロン類の管理の適正化

①機器使用中の大気放出の抑制

- ・ 特定漏えい者の削減促進（目標設定・計画策定）
- ・ 定期点検における常時監視システムの活用 など

②機器廃棄時の冷媒回収の徹底

- ・ 家庭用エアコンに係る大気放出抑制の抜本的強化
- ・ 修繕・模様替え工事に伴う機器廃棄への対応の充実 など

③今後の再生HFCsの需要増を見据えた対応（回収済みフロンに係る中間集約機能の整備など）

（3）施策の基盤となる基礎データの整理

IV 中長期の課題（デジタル技術を活用した機器情報管理、冷媒回収に配慮した機器・建築物の設計など）